

RAINBOW

No. 105

松江市教育委員会学校教育課 松江市学校図書館支援センター TEL:55-5073 FAX:55-5251
<http://www1.city.matsue.shimane.jp/kyouiku/gakkou/>

2学期がスタートしました。

夏休み中に読んだ本の感想を伝え合ったり、読書について会話したりで、図書館は活気づいていることでしょう。子どもたち一人ひとりの声を聞くチャンスですね。



司書教諭スキルアップ研修会を行いました 8月4日(金) 於:松江市市民活動センター

司書教諭としての役割や職務についての理解を深め、学校司書と連携を図りながら、学校図書館活用教育を組織的・協働的に推進していく知見やスキルを向上することを目的とした研修会を行いました。

司書教諭や図書館担当教員、学校司書、計30名が参加し研鑽を積みました。

研修内容

講義と演習 学びをつなぐ学校図書館 ～司書教諭、学校司書の役割と協働、授業例から考える～
 講師 元松江市教育委員会学校図書館支援センター 林 良子 氏

学校図書館の運営や活用教育の推進役である司書教諭がどのように校内へ働きかけていけば良いのか、学校司書や教職員と協働するための工夫などについて、事例を交えてお話していただきました。

また、情報リテラシーを育てるには、探究的な学習を教科等横断的、系統的、継続的、協働的に行うこと、そのために「学び方指導體系表」を活用することを松江市内での授業例を紹介しながら伝えていただきました。



林 良子 講師

司書教諭も学校司書も多岐に渡る業務がありますが、校内への啓発や協働の工夫、授業実施のポイントなど、参考になる事例をたくさん示していただき、図書館担当者としてやりがいがあるような励ましを受けることができました。

演習の様子

宍道湖の生きものについて発表する児童の動画を見て、どのような情報活用スキルが関わっているかを、「学び方指導體系表」にチェックを入れて確認する。



研修会の様子



学校図書館に係る学校訪問(計画訪問①)を行いました 6月7日～29日実施

今年度、新規雇用と異動のあった学校司書配置校9校の学校訪問を行いました。管理職や司書教諭、学校図書館担当教員、学校司書と学校図書館の運営状況や活用教育について意見交換を行い、学校図書館活用教育の推進を図りました。各校の取組の一部を紹介します。



訪問校	主な取組
内中原小学校	<ul style="list-style-type: none"> 図書館運営の方針を「教育課程に位置付け、学校図書館を計画的に利用する」「魅力のある読書指導や環境づくりに努める」「学びを支える資料の収集や提供に努める」「教職員や保護者との連携を密にし、理解や協力を得る」こととしている。 司書教諭を4名発令している。学年ごとに担当しているが、読書指導やスキル指導について、重点となる部分は学校司書も含め全員で情報共有を行い、系統的な図書館活用ができるように意識している。
古志原小学校	<ul style="list-style-type: none"> 「読みたい 知りたい 伝えたい こしばらっこ ～みんなで使い、育てる図書館～」を図書館のテーマとし、図書館の利用者としての利活用力の向上を促進している。 読書指導の要となる担任や教員へ向けて、おすすめの本のコーナーを職員室前に設置している。教員と本を結び付けるように、紹介文を付けるなどの工夫をしている。
川津小学校	<ul style="list-style-type: none"> 図書館経営目標は「心のよりどころとなる場」「豊かな心をはぐくむ場」「自ら学ぶ場」をキーワードに、校内での連携や資料整備に努め、明るく開放的な図書館にしたり、図書館を利活用する力を高めたりすることとしている。 児童一人ひとりが図書館ファイルを持っている。学期ごとに担任が読書状況を確認し、コメントを記入したり、声掛けをしたりするようにしている。
法吉小学校	<ul style="list-style-type: none"> 今年度の図書館運営の重点は「学習センター機能の充実」「利用しやすい環境づくり」「読書活動の推進」「家庭や地域との連携」としている。 図書館オリエンテーションでは、前半は担任が国語の「図書館へ行こう」の授業を行い、後半は学校司書が図書館の利用指導を行った。図書館の概要を知り、詳細を説明することで、児童はスムーズに理解することができたようだ。
忌部小学校	<ul style="list-style-type: none"> 今年度の重点目標は「児童が進んで読書をしたくなるような読書環境の整備」「児童の学びを確かなものにするための図書館利用指導や環境整備」としている。 どのような目的で図書館を活用するのかということを重視して、資料提供や情報提供をしている。そのために、司書教諭と学校司書の打ち合わせの時間の確保や方法を工夫しながら行っている。
古江小学校	<ul style="list-style-type: none"> 利用しやすい図書館になるようにし、児童の読書意欲を高めることや、司書教諭や学校司書が図書館を活用した授業を支援すること、学習に活用できる資料を充実させるように努めている。 図書館の年間活動予定や年間指導計画、司書教諭や学校司書の職務について教職員に周知するとともに、図書館の時間の設定など、図書館の利活用機会の確保を行っている。
秋鹿小学校	<ul style="list-style-type: none"> 今年度の取組の重点として、学校図書館を活用した学習の充実や情報活用能力の育成、魅力のある読書指導や環境整備を挙げている。併せて、図書館資料の収集や提供を計画的に行っていく。 読書が好きな児童が多く、高学年がよく読んでいる。担任が主となって児童の読書状況を把握したり、声掛けをしたりしているので、全校あげての読書指導の成果だと考えている。
第一中学校	<ul style="list-style-type: none"> 朝読書や本の紹介等で読書意欲を高めたり、図書館を利用して情報活用能力を育成したりすることを学校図書館全体計画に挙げている。 生徒がたくさんの本にふれることができるように、配架や展示を工夫している。国語の授業ではビブリオバトルを行った。生徒から「普段、手に取らないような本を知ることができた」という感想があり、読書意欲を高める一例となった。
東出雲中学校	<ul style="list-style-type: none"> 指導の重点として「各教科で『学び方を学ぶ』スキル学習の実践」「考え方や表現をサポートする思考ツールを活用した授業実践」「教科のねらいを達成するための図書館の活用」を挙げている。 授業の記録(指導案や掲示物等)や成果物が多く保存してある。教員と一緒に保存物の整理を行い、授業に役立つものを確認する予定である。

学校図書館活用教育に係るブロック別研修《運営研修》を行いました

小中一貫教育の視点から学校図書館活用教育を行うために、中学校区（5～8校）を1ブロックとし、ブロックごとに2種類（①運営研修、②授業研修）の研修をしています。

①運営研修は図書館運営や学習支援、読書支援についての意見交換を、②授業研修は学校図書館を活用した授業研究を行います。両研修共、司書教諭や図書館担当教員、学校司書、関係教職員が参加対象です。

今号では、7月と8月に行った、6ブロックの①運営研修の様子をお伝えします。

A1ブロック 千鳥の杜学園、しまね潮風学園

（会場校：法吉小学校）

● 研修内容

- ・法吉小学校の取組紹介
- ・司書教諭部会・・・オリエンテーションについて、「司書教諭としての時間」の活用について
- ・学校司書部会・・・蔵書の構築について（選書・廃棄基準、手続きなど）
- ・部会での内容を全体で共有

情報交換の様子



B1ブロック 嵩の杜学園

（会場校：持田小学校）

● 研修内容

- ・持田小学校の取組紹介
- ・選書の視点や手順などについて（巡回図書を活用して）
- ・各校で学習に役立った図書の紹介



巡回図書から選書している様子



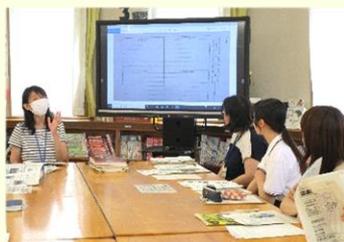
役立った図書の紹介

C1ブロック まつえ天神川学園、まつえ湖南学園

（会場校：第三中学校）

● 研修内容

- ・第三中学校の授業支援についての実践発表
- ・委員会活動とタイアップした児童生徒主体の読書活動の実践について



第三中学校の
実践発表の様子

C2ブロック 宍道みずうみ学園、玉湯学園

（会場校：来待小学校）

● 研修内容

- ・来待小学校の取組紹介
- ・郷土資料について（調べ学習の状況、別置の有無など）
- ・読書の取組について（おすすめの本：リストや展示の工夫など）
- ・委員会活動の取組について

情報交換の様子



D1ブロック 津田古志原夢きぼう学園、やくも意宇学園

（会場校：古志原小学校）

● 研修内容

- ・古志原小学校の取組紹介
- ・各校の学校図書館活用教育の取組の成果と課題について



古志原小学校の取組紹介の様子

D2ブロック 湖東かなび学園、ほっとハート東出雲学園

（会場校：竹矢小学校）

● 研修内容

- ・竹矢小学校の取組紹介
- ・オリエンテーションについて
- ・図書館資料の廃棄の基準や手順について
- ・選書のポイントや「おすすめの本」について



情報交換の様子（中学校区別に分かれて）

※参加者より「司書教諭と学校司書と一緒に参加し、自校の取組を確認したり、他校の取組を参考にしたりすることができた。」「課題改善のヒントを得ることができた。」などの感想がありました。

学校司書の活動や気づき 令和5年6月、7月の学校司書業務報告書より

(各校の活動について、学校間で情報交換ができるように校名を学校(ボックス)番号で文末に表記しています。)

●読書支援に関すること



- ・おはなしbaumの方にストーリーテリングをしていただいた。子どもたちは1年生から6年生まで熱心にお話を聞いており、場面によっては「クスッ」と笑っていたり、「うわー！」と驚いていたりし、お話の世界に浸っていた。ストーリーテリング後の貸出時は、語られた本を多くの子が借りていた。(21)
- ・夏休み用の本の貸出を行った。普段は読まないような本も借りてみようと呼びかけた。必読書や読み応えのある本にも挑戦しようと本を選んでいる姿や「この本おもしろかったよ。」と友だちに紹介している姿が見られた。(24)

●学習支援に関すること

- ・小学5年生は総合的な学習の時間に「地域のいいところ」について学習した。担任から地域のことで、新しい情報が載っている資料を使いたいと要望があった。地域コーディネータや公民館などの協力を得て、資料を準備することができた。様々な方面にアンテナを広げて情報収集をしていきたいと思った。(26)

●校内の連携に関すること

- ・7月末に図書館運営委員会を開いた。事前に司書教諭と1学期の貸出及び読書推進状況や図書館の時間や休み時間の利活用の様子などを資料にまとめておき、それを報告した。併せて、環境整備に必要な物の相談や蔵書基本方針についての確認を行った。組織的に運営していく体制が整っていて、心強く思っている。(5)
- ・夏季休業中に、職員作業で資料の整理や廃棄、書架の掃除を行った。本校の図書館は狭く、収容冊数的に厳しい面があるが、使いやすい書架のレイアウトや資料の配架にしたいと考えている。今回の職員作業や資料の整備については、毎週、司書教諭と打ち合わせを行い相談を重ねていったからできたことだと思う。(10)
- ・学校図書館活用教育について理解を深めるため、校内研修を行った。講義「学校図書館活用教育について、各教科での活用について」(講師：学校図書館支援センター)を聞いた後、自校図書館の蔵書を見ながら授業で活用できそうな資料を選ぶという演習を行った。図書館をより知ってもらえ、書架を見て各教科等で活用できる資料を選定し合う良い機会となった。(38)



令和5年度 松江市学校図書館の運営体制について

松江市では学校図書館の運営や活用教育の推進を図るために、学校図書館運営組織の設置を推奨するとともに、司書教諭の発令や学校司書の配置を行っています。

○学校図書館運営組織の設置状況 全校設置

○司書教諭の発令

校種	学級数	学校数(校)	発令校数(校)	発令率(%)	発令人数(人)
小学校	12学級以上	19	18	95	31
	11学級以下	13	12	92	13
中学校	12学級以上	7	7	100	8
	11学級以下	7	6	86	7
義務教育学校		2	2	100	4

○学校司書の配置

校種	人数(人)
小学校	31
中学校	14
義務教育学校	3

※司書教諭を複数発令している学校は14校

※学校司書は全校配置

※司書教諭の発令がない学校は、有資格者が在籍していないため(図書館担当教員が司書教諭の職務を担っている)